



複合専門商社グループ



ユアサ商事株式会社

YUASA REPORT

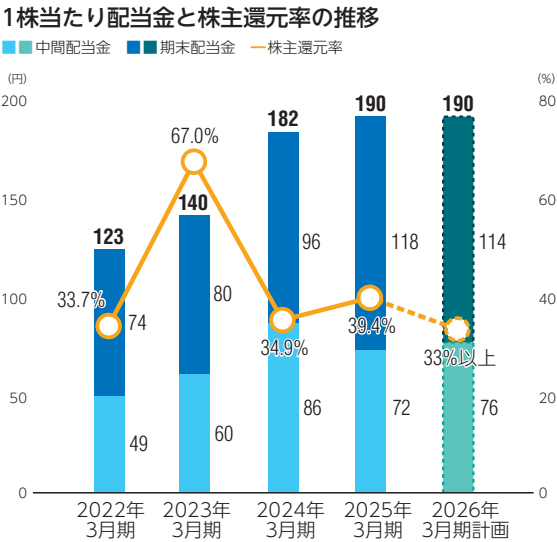
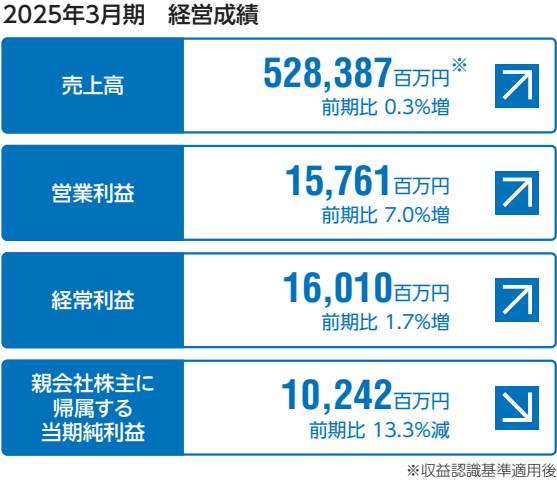
第 146 期 2024.4.1-2025.3.31





代表取締役社長 田村博之

社会課題の解決を起点に グローバルな成長を加速



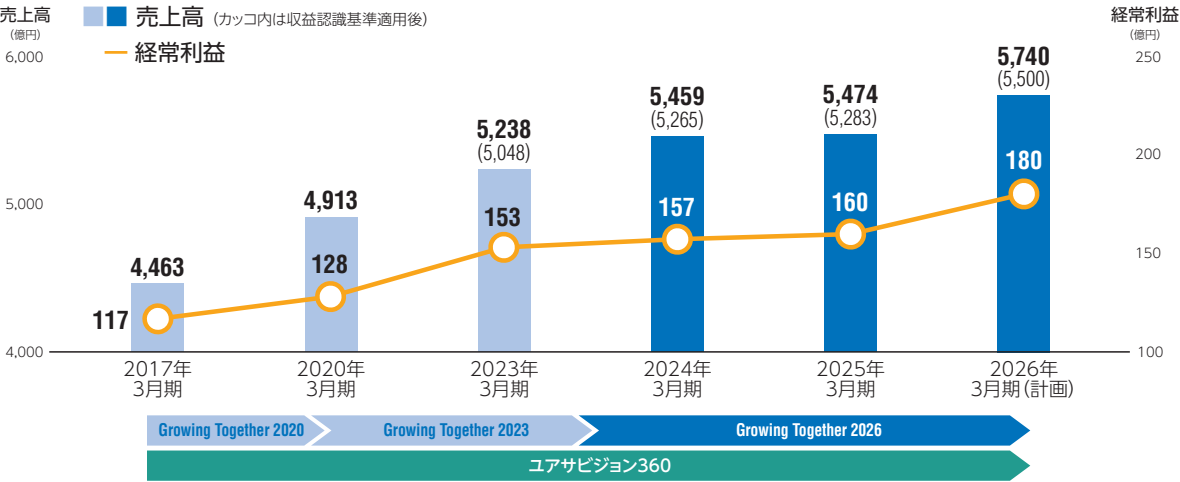
株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年 から スタートした中期経営計画「Growing Together 2026」[P4参照](#) の2年目となった2025年3月期は増収・増益となり、3期連続で最高益を更新いたしました。創業360周年を迎える2026年3月期の目標である「売上高5,500億円(収益認識基準適用後数値)・経常利益180億円」の達成に向け、成長戦略の推進 [P6参照](#) による社会課題の解決を通じた収益性・成長性の向上 [P5～6参照](#) に取り組んでまいります。

地政学リスクや通商政策の変化などにより、社会・経済の不確実性はこれまで以上に高まっています。しかしながら、いつの時代にも様々な「社会課題」が存在することは変わりません。これまでも、そしてこれからも、マーケットアウト思考でニーズを捉え「つなぐ」思考で新たな価値を創造する複合専門商社としての決意を

長期ビジョンと中期経営計画

「ユアサビジョン360」 2026年(創業360周年)に向けた定量計画



込め、当社は2026年4月より商号を「株式会社YUASA」として、新たな一步を踏み出すことといたしました。 [裏表紙参照](#)

2025年3月期は、史上初の海外開催となる「YUASA Grand Fair in THAILAND」[P7参照](#) の開催や、HENKOグループ(南アジア地域の販売ネットワーク強化)・ラインナップ(イベント運営・ファニシング機能の強化)の株式取得、アルファTKG(板金DXへのチャレンジ)への出資など、成長機会の拡大に向けた様々な取り組みが進捗しました。

また、当社グループが開発したAI外観検査装置「F[ai]ND OUT EXW」が、日刊工業新聞社主催「第67回十大新製品賞」で「モノづくり賞」を受賞 [P5参照](#) いたしました。「つなぐ」価値創造による社会課題の解決はもちろん、風土改革・DX推進・サステナビリティ推進 [P8参照](#) をはじめとした非財務面の取り組みも通じ、企業品質のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒相変わリませぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

財務KPI

単位：億円(未満切り捨て)

	2025年3月期実績
売上高	5,283※
営業利益	157
経常利益	160
経常利益率	3.03%
当期純利益	102
自己資本利益率(ROE)	9.7%
株主還元率	39.4%
株主資本配当率(DOE)	4.0%

※収益認識基準適用後

非財務KPI (CO₂排出量以外の指標はユアサ商事単体を対象)

	2025年3月期実績
CO ₂ 排出量	算出中
女性管理職比率	1.7%
女性総合職比率	5.6%
女性総合職採用率	19.0%
男性育休および育児目的休暇取得率	74.4%
有給休暇取得率	64.0%
平均労働時間	1,923時間
マネジメント人材育成 ※研修プログラム受講人数(のべ)	335名
デジタル人材育成 ※当社独自プログラムの合格者	IT人材:316名※1

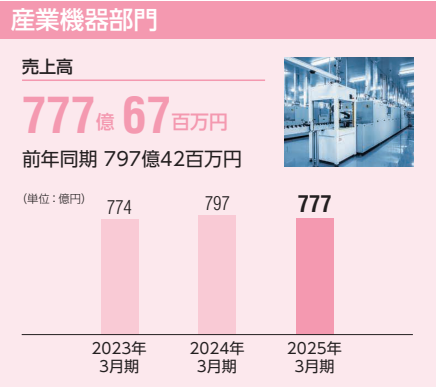
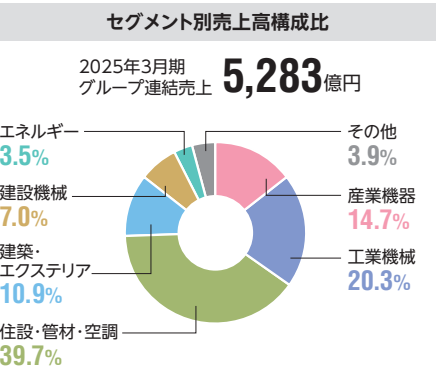
※1 IT人材…ITツールやデジタル技術を自らの業務に活かし、デジタル施策の実行ができる人材

2025年3月期 通期決算の概要

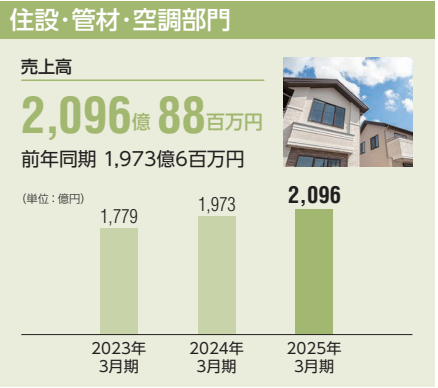
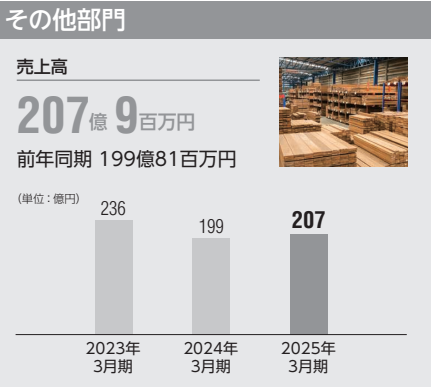
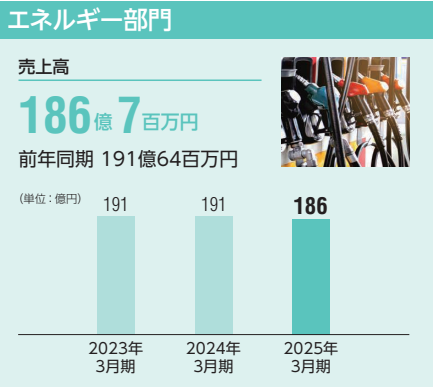
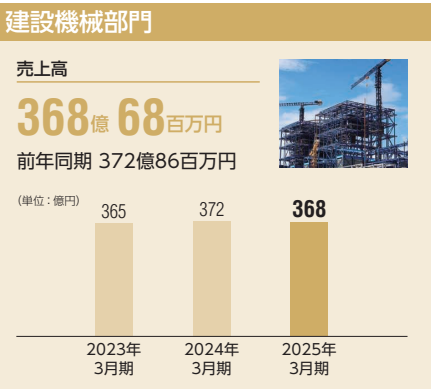
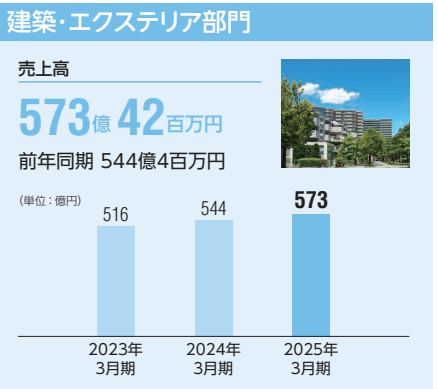
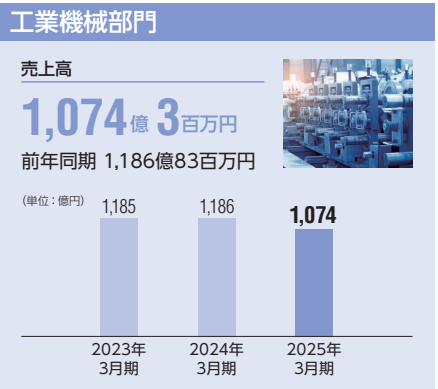
当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度比0.3%増の5,283億87百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は157億61百万円(前連結会計年度比7.0%増)、経常利益は160億10百万円(前連結会計年度比1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年に退職給付信託返還益を32億55百万円計上したこともあり、前連結会計年度比13.3%減の102億42百万円となりました。

工業分野では、AI関連の半導体関連産業などに底堅い設備投資需要が続きました。住宅分野では、戸建てを中心とした新設住宅着工戸数は引き続き弱含みで推移したものの、高機能商品の需要が高まりました。建設分野では、都市部を中心とした再開発や大阪・関西万博関連需要は堅調に推移しました。

海外では、米国で景気の拡大が続くとともに、タイ、インド、インドネシアなどでも景気が底堅く推移した一方、中国では景気の足踏み状態が続きました。



※組織再編により、工業機械部門および住設・管材・空調部門の2024年3月期の実績値は選及適用後の数値になっています。



2025年3月期 通期決算説明会資料と
当社代表取締役社長の田村による
説明動画を公開しております。
<https://www.yuasa.co.jp/ir/library/financial-report/>

全体図と定量計画

ビジネスモデルを変革し既存取引ネットワークを発展させることにより、
既存事業・成長戦略を国内外で拡大します。



財務KPI	
	単位：億円(未満切り捨て)
	2026年3月期計画
売上高	5,500 ※
営業利益	177
経常利益	180
経常利益率	3.27%
当期純利益	120
自己資本利益率(ROE)	11.8% 以上
株主還元率	33.0% 以上
株主資本配当率(DOE)	3.5% 以上

※売上収益認識基準適用後

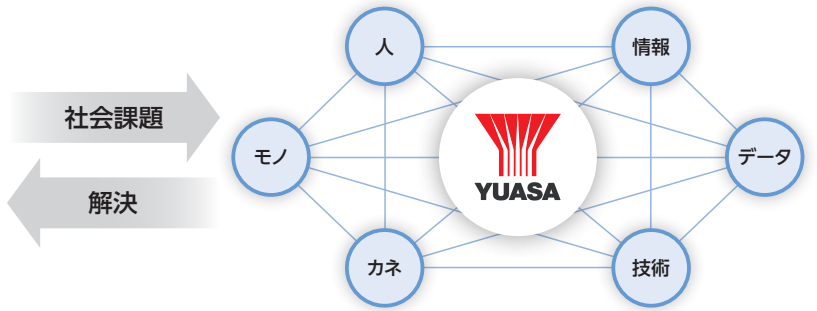
非財務KPI (CO ₂ 排出量以外の指標はユアサ商事単体を対象)	
	2026年3月期計画
CO ₂ 排出量※1	30%削減 (2023年3月期比)
女性管理職比率	3.0%
女性総合職比率	6.0%
女性総合職採用率	12.0%
男性育休および 育児目的休暇取得率	100.0%
有給休暇取得率	70.0%
平均労働時間	1,920 時間
マネジメント人材育成 ※研修プログラム受講人数(のべ)	370 名
デジタル人材育成 ※当社独自プログラムの合格者	IT人材: 600 名※2 DX人材: 40 名※3

※1 当社グループのScope 1、2に対する目標 …2023年3月期実績 6,682(t-CO₂)
※2 IT人材…ITツールやデジタル技術を自らの業務に活かし、デジタル施策の実行ができる人材
※3 DX人材…データ分析結果を活用し、マーケティングと経営戦略に特化した知識により新たな企画立案を行い推進する人材

収益性の向上

「つなぐ」イノベーションによる社会課題の解決

「つなぐ」イノベーションにより、「人」「モノ」「カネ」に加え当社グループ・取引先ネットワークが有する「情報」「技術」「データ」等をつなぎ、社会課題を解決することで新たな価値を創出し、収益性の向上を実現します。



収益性向上に向けた取り組み

AI外観検査装置「F[ai]ND OUT EXW」が
日刊工業新聞社主催十大新製品賞「モノづくり賞」を受賞

当社グループでAI開発を手掛けるconnectome.design(コネクトームデザイン)社と共同で開発したAI外観検査装置「F[ai]ND OUT EXW(ファインドアウト イーエックス ダブリュ)」が、日刊工業新聞社主催・2024年(第67回)十大新製品賞「モノづくり賞」を受賞いたしました。

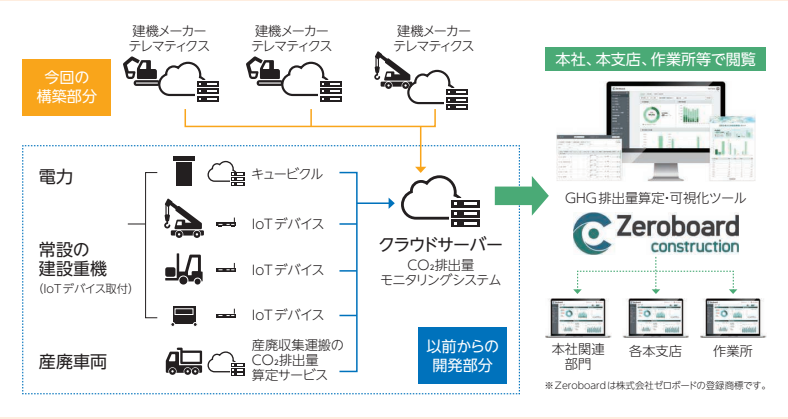
製造物の異物混入や破損などの欠陥をAIにより即座に検出できるシステムで、工業製品や食品などの製造現場において目視や手作業で行われてきた外観検査の自動化により、省人化・省力化に貢献します。



テレマティクスサービスを活用した
建設機械のCO₂排出量自動モニタリングを開始

竹中工務店と共同で、建設現場におけるCO₂排出量の把握に向けた自動モニタリングの取り組みを開始いたしました。

本取り組みは、排出量算定・可視化サービス「Zeroboard construction(ゼロボード コンストラクション)」と連携し、テレマティクスサービスを通じ建設機器の活動量を把握することにより、従来より少ない工数で正確かつリアルタイムなCO₂排出量の可視化を目指す実証実験で、現場の生産性向上およびCO₂排出量の可視化に向けたアクセシビリティの向上を目指します。



成長戦略の推進

成長戦略は、「全社推進事業」と「エリアや組織別に推進を図る事業」から構成され、コア事業の拡大を図る6つの事業と、強みを新たな市場へ展開する3つの事業に注力しています。

全社推進事業		エリアや組織別に推進するターゲット市場・チャレンジ領域	
コア事業の拡大を図る事業		新事業	
海外事業	レジリエンス&セキュリティ事業	介護・医療事業	
南アジア(タイ・インド等)を中心に注力 P7参照			
取扱高 (単位: 億円)	売上高 (単位: 億円)	売上高 (単位: 億円)	
■実績 ■計画	■実績 ■計画	■実績 ■計画	
281 300 650	344 359 350	191 228 250	
2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	
グリーン事業	新流通事業	食品事業	
省エネ・再エネ・蓄エネソリューションを展開			
売上高 (単位: 億円)	売上高 (単位: 億円)	売上高 (単位: 億円)	
■実績 ■計画	■実績 ■計画	■実績 ■計画	
500 502 600	174 190 250	63 77 160	
2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	
デジタル事業	シェアリング事業	農業事業	
現場の省人化・省力化を推進			
売上高 (単位: 億円)	売上高 (単位: 億円)	売上高 (単位: 億円)	
■実績 ■計画	■実績 ■計画	■実績 ■計画	
130 189 400	19 21 100	77 58 100	
2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	2024年 2025年 2026年 3月期 3月期 3月期	

取引先ネットワークの拡大

海外：タイ・インドをはじめとする南アジア地域をターゲットに展開

海外プロモーションの確立

- 当社初のプライベートセール
YUASA Grand Fair in THAILAND



2月5日～7日の3日間、BITEC (バンコク国際貿易展示場)にて「YUASA Grand Fair in THAILAND」を開催いたしました。国内外206社のメーカーが参加し、来場目標を上回る6,111名のお客様にご来場をいただきました。

- 総合提案モデルルームをタイで展開

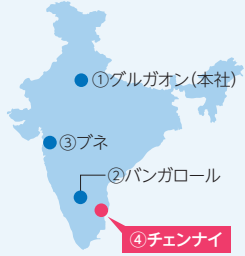
住環境や建設分野をはじめとする、当社取り扱い商品の総合提案を行うモデルルームを構築し、現地ユーザーへのプロモーションを図ってまいります。物件については既にバンコク市内に契約済で、2026年3月期上期中の公開を予定しております。

拠点戦略

- インド4拠点目
「チェンナイ支店」開設

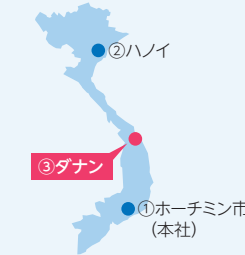
同国4拠点目となる支店をチェンナイに開設いたしました。

広いインドの南北に営業拠点を設置し、高い成長ポテンシャルの取り込みを目指してまいります。



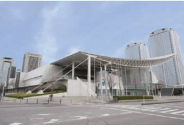
- ベトナム3拠点目
「ダナン支店」開設

製造業を中心に産業の多角化が進む中部の都市・ダナンに、ホーチミン市・ハノイに続く営業拠点を開設いたしました。



つなぐグランドフェア2025のご案内



 関東グランドフェア 7/3(木)～4(金) 幕張メッセ	 東北グランドフェア 7/24(木)～25(金) 夢メッセみやぎ	 中部グランドフェア 9/4(木)～5(金) ポートメッセなごや	 九州グランドフェア 9/11(木)～12(金) マリンメッセ福岡	 関西グランドフェア 9/18(木)～19(金) インテックス大阪
--	--	--	---	--

当社最大のプロモーションである「グランドフェア」を全国5会場で開催いたします。社会課題を解決する当社の「つなぐ」商品およびソリューションを多数展示し、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

公式Webサイト



<https://grandfair.jp/gf2025/>

変革のベース

風土改革

イノベーションが生まれる企業風土づくり



タイ展示会へ応援社員が参加

2月に開催した「YUASA Grand Fair in THAILAND」において、国内勤務の41名が応援でタイに渡り運営・営業に参画しました。

参加は希望制で、2年目の若手から中堅・管理職まで幅広いメンバーがチャレンジしました。

サステナビリティ推進

自社とサプライチェーンのサステナビリティ推進



タイ新社屋に太陽光パネルを設置

屋上に太陽光パネルを設置し、年間総出力容量に換算して約50トン分のCO₂削減効果が期待できます。当社グループの国内外における自社所有物件においても同様の取り組みを進めるとともに、賃貸物件においても再生可能エネルギー由来の電力供給への切り替えを順次進めています。

DX推進

生成AI活用・データ活用基盤の整備を推進



生成AIを全社で運用開始

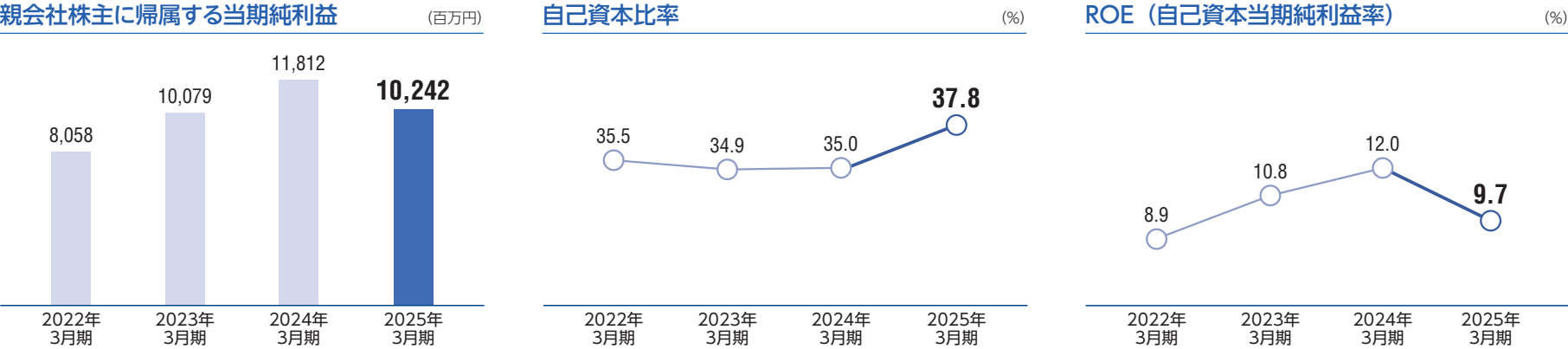
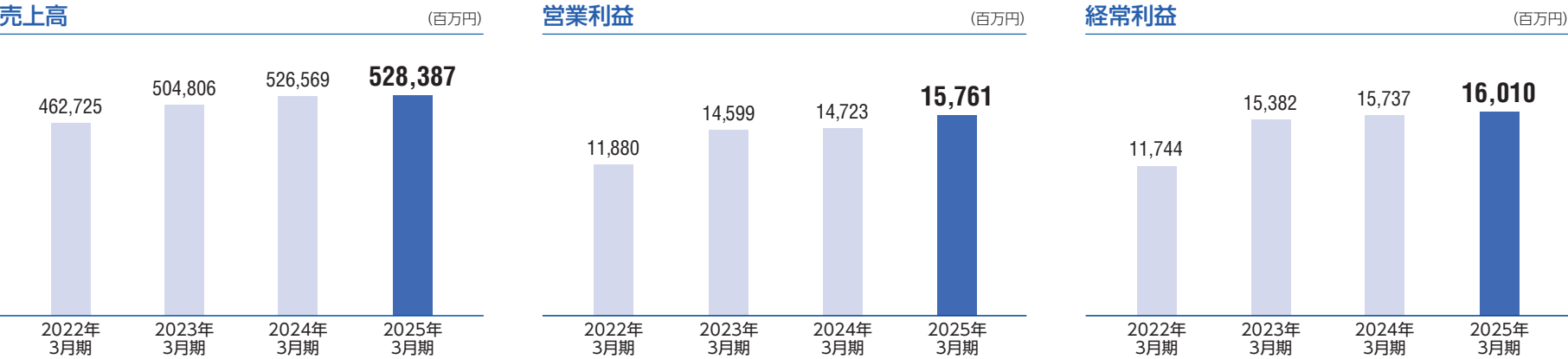
業務効率と精度の向上を目的に、セキュアな社内環境における生成AIの運用を開始しました。既に実施しているRPA(業務プロセスの自動化)の活用とも併せ、日々の業務でデジタル技術を積極的に活用できる企業を目指し、システムの導入・整備や人材育成を引き続き進めていきます。



データ活用基盤の整備に向けた投資

中期経営計画における「DX IT デジタル投資」として、2026年までの3か年で計112億円の投資計画に対し108.5億円の投資を実行しています。営業情報をはじめとした統合データ基盤の整備を通じ、営業効率のさらなる向上を目指します。

財務ハイライト



資本コストを意識した経営の実現に向けた対応

当社では、財務部門における各種要因の分析と外部評価機関からの提供情報を勘案し、2025年3月期時点の株主資本コストを【5.64%～6.53%】と想定しております。併せて、中期経営計画「Growing Together 2026」ではこれを上回るROE(自己資本当期純利益率)11.8%以上の実現を前提とした利益計画の達成に向け、下記の各種取り組みを進めてまいります。

- ①事業活動を通じた収益性・成長性の向上 …… 売上総利益率(2025年3月期実績11.6%)、売上高に占める成長戦略比率(2025年3月期実績35%)の継続的な伸長
- ②成長投資方針 …… 【投資計画】3か年計画(212億円)の8割(181億)が進捗済み 【株主還元】還元率・DOE 指標に則り、4期連続の増配
- ③株主資本コスト低減に向けた取り組み …… 【対話の推進】IR 面談件数が対昨年比で175%と伸長 【情報開示】義務化に先駆け昨年度より日英同日開示を実施

会社概要／株式情報

会社概要

商号 ユアサ商事株式会社
YUASA TRADING CO.,LTD.
本社 東京都千代田区神田美土代町7番地
創業 1666年(寛文6年)3月
設立 1919年(大正8年)6月25日
資本金 20,644百万円
従業員数 2,891名(連結) 1,264名(単体)

取締役および監査役 (2025年6月25日現在)

名前	役職	管掌
田村 博之	代表取締役社長	兼 海外事業推進担当
田中 謙一	代表取締役専務取締役 経営管理部門統括	兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス 委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長
濱安 守	常務取締役 営業部門統括	兼 工業マーケット事業本部長 兼 ㈱国興代表取締役会長 兼 ユアサネオテック㈱ 代表取締役会長
大村 貴臣	取締役 営業部門副統括	兼 建設マーケット事業本部長 兼 ユアサ木材㈱ 代表取締役会長 兼 富士クオリティハウス㈱ 取締役 兼 ユアサ燃料㈱ 代表取締役会長
竹尾 希典	取締役 住環境マーケット 事業本部長	兼 スマートエネルギー事業部長 兼 ユアサクオビス㈱ 代表取締役会長 兼 浦安工業㈱代表取締役会長 兼 ユアサプライムス㈱ 代表取締役会長

前田 新造	取締役(社外)
平井 嘉朗	取締役(社外)
光成 美樹	取締役(社外)
町田 悠生子	取締役(社外)
前冚 威	監査役(常勤)
大谷 宏充	監査役(常勤)
本田 光宏	監査役(社外)
加城 千波	監査役(社外)

(注) 社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

国内ネットワーク (2025年4月1日現在)

国内拠点	
32拠点 (8支社、13支店、11営業所)	
主な国内グループ会社	
産業機器	株式会社国興 中川金属株式会社
工業機械	ユアサネオテック株式会社 ユアサクオビス株式会社
住設・管材・空調	友工商事株式会社
	浦安工業株式会社
	株式会社マルボシ
	株式会社サンエイ
建設機械	フシマン商事株式会社
	ユアサマクロス株式会社
	富士クオリティハウス株式会社
	株式会社丸建サービス
エネルギー	株式会社ラインナップ
	ユアサ燃料株式会社
	ユアサプライムス株式会社
	ユアサ木材株式会社
その他	ユアサシステムソリューションズ株式会社

海外ネットワーク

主な海外グループ会社	
YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA ENGINEERING SOLUTION (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC.	フィリピン
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ
湯浅商事(上海)有限公司	中国
YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.	台湾

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 40,000,000株
発行済株式総数…………… 22,100,000株
(自己株式861,862株を含む)
株主数…………… 7,472名
※単元株式数は100株であります。

大株主 (上位10名) (2025年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社	2,674	12.59
光通信株式会社	1,001	4.71
ユアサ炭協持株会	959	4.51
野村信託銀行株式会社	884	4.16
BNYM AS AGT/CLTS 10PERCENT	868	4.09
株式会社日本カストディ銀行	841	3.95
東部ユアサやまざみ持株会	654	3.08
西部ユアサやまざみ持株会	607	2.86
ユアサ商事社員持株会	540	2.54
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	483	2.27

- 千株未満は切り捨てて表示しております。
- 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
- 当社は自己株式861千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(206千株)は含まれておりません。
- 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 2,674千株
野村信託銀行株式会社 884千株
株式会社日本カストディ銀行 841千株

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.yuasa.co.jp/ir/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他 のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞 に公告いたします。)

ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

東京都千代田区神田美土代町7番地
ユアサ商事株式会社
 代表取締役社長 田村博之

第146回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、2025年6月25日開催の当社第146回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬具

記

- 報告事項**
- 第146期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果をそれぞれ報告いたしました。
 - 第146期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案

定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。変更の内容につきましては、下記のとおりです。

(下線部分は変更箇所を示しております。)

変更前	変更後
(商号)	(商号)
第1条 当社は、ユアサ商事株式会社と称し、英文では、YUASA TRADING CO.,LTD.と表示する。	第1条 当社は、株式会社YUASAと称し、英文では、YUASA CO., LTD.と表示する。
(新設)	附則 (商号変更の効力発生) 定款第1条(商号)の変更は、2026年4月1日に効力が生じるものとする。なお、本附則は、定款第1条の変更の効力発生日経過後これを削除する。

第2号議案

取締役9名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役に田村博之、田中謙一、濱安守、大村貴臣、竹尾希典、前田新造、平井嘉朗、光成美樹及び町田悠生子の9氏が再選され、それぞれ就任いたしました。
 なお、前田新造、平井嘉朗、光成美樹及び町田悠生子の4氏は社外取締役であります。

第3号議案

監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査役に大谷宏充氏が新たに選任され、就任いたしました。

第4号議案

補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、補欠の社外監査役に増田正志氏が選任されました。

以上

2026年4月1日、ユアサ商事株式会社は「株式会社YUASA」へ。

社会の変化と共に進化を続ける当社は、そのグローバルなビジネスフィールドの拡大に合わせ屋号・商号を定めてまいりました。

創業から360年の年月を経て、社会課題の解決を通じてトレーディングに留まらない価値を創造する複合専門商社としての決意を込め、2026年4月より「株式会社YUASA」として新たな一步を踏み出します。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。